

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成17年度～	根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険条例	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 合 先 先 このシート作成に要した時間	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		2.0 時間
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供		
事務事業名		03	備前病院診療事業	職・氏名	市立備前病院 事務部 医事係長 石原 史章	
				電話	0869-64-3385	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人	
目的 (何のために)	安心・安全で良質な医療の提供	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安心安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
収納事業/未収金	未収金の回収業務	◎	
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供	◎	
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供	◎	
健診事業/健診	住民健診・企業検診・人間ドックによる市民の健康管理の提供	◎	
地域連携事業	病院と診療所での連携・病院と病院との連携・介護福祉施設等との連携を図り、患者さまにより良い医療サービスを提供	○	
相談事業	入院中や在宅での不安、介護施設利用などの相談業務	○	
その他医事	各種法令に沿った申請、届出等医療事務サービスの提供	○	
右欄の評価の説明			
〈妥当性評価〉 備前地域での中核病院であり、救急告示病院である。病院の改築、高度医療機器も充実し救急受入・手術件数も増加している。健康教室の毎月の開催、女性外来、ワンコインチェックなど独自の医療サービスの提供を行っている。			
〈効率性評価〉 院内での業務改善、サービス向上委員会を毎月定期的に開催し、患者満足度を高め市民が信頼して利用できる医療機関を目指す取組を行っている。			
〈有効性評価〉 職員意識改革への取組として、経営状況の理解を徹底し、年度毎の経営計画を策定し経営目標に沿った目標管理を実施している。前年度、外科部門の医師充実により、救急患者の受入件数、手術件数の増の傾向にあったが、脳神経外科医師の退職により収益は予想を下回る結果となった。患者サポート窓口、退院調整室、地域連携室など引き続き強化し、地域連携の充実に努め更なる収益増加に努めている。			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	502,533	568,367	606,766
	必要人員費	千円	97.81人	705,796	108.95人
決算額	事業費計	千円	1,208,329	1,373,699	1,434,602
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円	125,538	125,538	127,483
	市債	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	1,082,791	1,248,161	1,307,119	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績	
結果指標	結果指標量		入院	外来	入院	外来	入院	外来
			23,354	48,474	26,347	54,762	24,748	54,388
	対前年比	%	95.5	99.7	112.8	113.0	93.9	99.3
	活動コスト	円	664,773,000	465,581,000	760,421,000	534,209,000	807,555,000	535,806,000
	単当たりコスト	円	28,465	9,605	28,862	9,755	32,631	9,852

事業の成果							(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	達成率	
						(A)	(B/A)
病床利用率 (%)	目標値 (A)	79.6	81.1	83.3	84.0		
	実績値 (B)	65.1	80.2	75.3	到達目標値		
		達成率 (B/A)	81.78%	98.89%	90.40%	毎年度	

事務事業の評価		Check
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度 (H26年度) の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	収益改善プロジェクトチームにおいて、各部署より業務内容を再度見直し、収益改善に向けた提案を提出させ検討実施する。特に本年度、地域包括ケア病床を開設し、安定した病床運営を行い収益向上を図る。 未収金対策として、督促等の手続きを再点検し、細やかな取組制度を確立する。 アンケート等を通じ、患者さまの声を本位の病院機能充実に向け安心安全、信頼できる病院を目指し、患者数増加を図り安定経営に努める。					

総合評価		Action
前年度、外科医師確保により救急受入件数、手術件数共に改善され病床稼働率が向上し収益の改善が見られたが、脳神経外科医師の退職により、収益としても予想を下回る結果となった。健康教室も毎月定期的に開催し地域住民の健康管理に定着してきている。女性医師による女性外来も、婦人科受診者数の向上に寄与している。 院内委員会・研修を通じて、患者さまの満足度向上に努めるとともに、市民に信頼される医療機関として、安定した経営基盤を確保することが必要である。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	平成26年度の診療報酬改定で「病院から地域へ」の方向性が強く示されている。当院も地域ケア病床の安定した運営を行い、収益向上策の要として確立していく必要がある。 また、医師・看護師不足解消のため、勤務形態や勤務条件の改善に取り組みとともに、医療情報ネットワークを推進し、救急病院との医療連携の充実を目指し、市民に親しみと安心安全な医療の提供を実施していく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな